

安寧の都市研究

Journal of Liveable City Studies

No.

1

2011

「安寧の都市」論の構築に向けて—身体と場所の風景論から
中村良夫 東京工業大学名誉教授

「安寧の都市」づくりに向けて—地域医療はどうなるか
小川道雄 市立貝塚病院総長

安寧の都市論
京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり
森雅志 富山市長

都市の物流マネジメントと病院のロジスティクス
苦瀬博仁 東京海洋大学副学長



もくじ

巻頭言 安寧の都市とは何か 谷口栄一

特集 安寧の都市を考える 土井 勉 3

特集1 安寧の都市の枠組み

「安寧の都市」論の構築に向けて——身体と場所の風景論から 中村良夫 4

「安寧の都市」づくりに向けて——地域医療はどうなるか 小川道雄 18

安寧の都市論 京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット 30

特集2 安寧の都市の具体像

公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり 森 雅志 32

都市の物流マネジメントと病院のロジスティクス 苦瀬博仁 45

特集3 安寧の都市研究レポート

ダーラム市、ポートランド市紀行 安東直紀 + 野本慎一 60

アデレードとパースから学ぶこと——「復元力」と「かしこい生活」 土井 勉 63

オーストラリア見聞録〈1〉 アデレード編 三谷智子 + 小山真紀 / 二木淑子 / 土井 勉 67

オーストラリア視察記録——セーフ・コミュニティ編 白石陽子 + 吉村晶子 69

オーストラリア見聞録〈2〉メルボルン編 小山真紀 + 二木淑子 72

「我々の」都市という共通感覚——フランス視察を振り返って 山田圭二郎 74

町家に生きる身体感覚と空間——太子山町の秦家住宅を訪ねて 吉村晶子 79

平成22年度 ユニットの出来事 85

平成23年度 ユニットの予定 86

原稿と写真の募集のおしらせ 87

仕事一覧 88

編集後記

編集後記

■安寧の都市ユニットで4月に開催した東日本大震災報告会では、地震と津波・原発に加えて風評の4つか「地域社会に大きなダメージ」となっていると、現地サポートに行かれた社会人履修生の方から報告があった。ユニットでは社会人履修生の方々と意見交換をする機会が多い。ここで聞く現場における生の声は我々の活動のエンジンであり燃料になっている。(土井勉)

■多くの日本人が誇りや自信、生きる寄り辺を見失っている現在、人々の癒しや生きがい、幸せ、そして安寧の探究は、学内でも文理を問わず、GCOE、ユニット等様々な形態で模索が始まっている。人、社会、環境の安寧のあり方を想い描き、都市の姿かたちを整えていくこと。それが、我々ユニットの究極の使命であると思う。(山田圭二郎)

■この1年間、様々な視点からのシンポジウム、セミナー、講義等が展開され、多面的・多層的に私たちの住む「まち」や「社会」の在り方、そして「安寧」とはなにか、について議論が積み重ねられてきた。この『安寧の都市研究』は、その一つの成果であるとともに、今後への大きな一歩になると信じている。

(白石陽子)

■ユニットで初めての編集作業となった第一号。不慣れな編集委員で不手際も多く、講演録や寄稿をいただいた先生方に大変お手数、ご迷惑をおかけした。しかし多くの人のご協力のおかげで刊行まで漕ぎ着けることができ感慨無量、関係各位に心より篤く御礼申し上げます。また、京都通信社さん、編集委員の先生方、お疲れさまでした。ありがとうございました。(吉村晶子)

発行日	2011年6月15日
発行	京都大学大学院工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂C1 TEL: 075-383-2819 FAX: 075-383-2820
発行人	谷口 栄一(安寧の都市ユニット長 工学研究科教授)
編集長	土井 勉(工学研究科、安寧の都市ユニット 特定教授)
編集委員	山田 圭二郎(工学研究科、安寧の都市ユニット 特定准教授) 白石 陽子(医学研究科、安寧の都市ユニット 特定研究員) 吉村 晶子(工学研究科、安寧の都市ユニット 特定研究員)
編集協力	京都通信社
デザイン	納富 進

表紙写真の解説

庭にみて都市を思ふ

無鄰菴庭園（京都市） 撮影・山田圭二郎

無鄰菴庭園は、発注者・山縣有朋の意向を汲み、「植治」こと7代目小川治兵衛が1895年前後に作庭。A先生は安寧の都市づくりを庭づくりに喩えた。庭師は、草木の長期的生長や四季折々、時々刻々の状況変化、回遊する観賞者の視点の変化を織り込み、借景となる外部の自然から一草一木にいたるまでが調和を保ちつつ庭に参加するよう、微地形の調整や、庭木と庭石・遣水のレイアウト、木1本1本の枝振りを考え、作庭に挑む。なるほど、作庭は都市づくりに似た総合的で持続的なマネジメント行為だ。庭師の先見、不如意の自然、延々と重ねられる日々の手入れの総合的所産として、この庭は100年以上の時を経てなおその輝きを保ち、我々に安らぎの場を提供し続けている。



京都大学大学院 工学研究科・医学研究科
安寧の都市ユニット

■工学研究科 拠点

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂C1
Tel.075-383-2819, Fax.075-383-2820

■医学研究科 拠点

〒606-8507 京都市左京区聖護院河原町53
Tel.075-751-3914, Fax.075-751-3914

<http://www.ulc.kyoto-u.ac.jp/>
an-nei@ulc.kyoto-u.ac.jp

